



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月11日

上場取引所 大

上場会社名 OUGホールディングス株式会社

コード番号 8041 URL <http://www.oug.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 谷川 正俊

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営基盤グループ

(氏名) 中江 一夫

TEL 06-4804-3033

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	74,448	△0.6	104	△24.0	242	△20.1	111	—
23年3月期第1四半期	74,902	△0.4	137	—	303	—	△114	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △18百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △238百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	2.04	—
23年3月期第1四半期	△2.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	73,327	14,227	19.4	260.21
23年3月期	66,628	14,575	21.9	266.56

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 14,221百万円 23年3月期 14,569百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	152,000	△0.7	200	△19.3	350	△27.7	200	5.5	3.66
通期	320,000	0.3	1,400	17.7	1,700	8.3	1,400	27.9	25.62

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	55,622,921 株	23年3月期	55,622,921 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	969,796 株	23年3月期	965,356 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	54,653,391 株	23年3月期1Q	54,789,148 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響もあり生産や輸出は減少し、一部に持ち直しの動きがみられるものの、雇用・所得環境は依然厳しく、個人消費は総じて低迷したまま厳しい状況の中で推移いたしました。

水産物流通業界におきましては、震災による消費者心理の冷え込みや生活防衛意識の高まりから購買意欲は低迷し、低価格志向が浸透したまま販売競争が激化するなど厳しい経営環境下にありました。

このような環境にあつて、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の削減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

業績の状況につきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は744億48百万円（前年同期比99.4%）となりました。損益面では、売上総利益は54億14百万円（前年同期比96.8%）となり、営業利益は販売費及び一般管理費の間接経費全般について削減等効率化を進めましたが1億4百万円（前年同期比76.0%）、経常利益は2億42百万円（前年同期比79.9%）となりました。四半期純利益は1億11百万円（前年同期1億14百万円の損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業の売上高は471億16百万円（前年同期比100.1%）、セグメント利益は仕入コストの上昇などにより1億36百万円（前年同期比68.7%）となりました。

<市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業の売上高は消費者の低価格志向の浸透や販売競争の激化などにより273億97百万円（前年同期比99.6%）、セグメント利益は1億16百万円の損失（前年同期1億30百万円の損失）となりました。

<養殖事業>

九州、四国にてハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業の売上高は販売数量の減少により12億51百万円（前年同期比74.7%）、セグメント利益は給餌効率の改善に努めましたが売上高の減少により67百万円（前年同期比43.7%）となりました。

<食品加工事業>

消費地にある鮮魚加工センターにて輸入サーモンのフィレ加工及びハマチ、ブリ等の鮮魚加工、量販店向けにおにぎり等米飯加工などを行う食品加工事業の売上高は低価格化や販売競争の激化などにより7億90百万円（前年同期比91.1%）、セグメント利益は主要製品の原材料価格の高騰などにより70百万円の損失（前年同期79百万円の損失）となりました。

<物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分けをし自社便にて配送を行う物流事業の売上高は通過物量の減少などにより5億22百万円（前年同期比90.3%）、セグメント利益は23百万円の損失（前年同期22百万円の損失）となりました。

<その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他の売上高は9億87百万円（前年同期比104.6%）、セグメント利益は2百万円の損失（前年同期10百万円の利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて66億99百万円増加し、733億27百万円となりました。主な要因は、たな卸資産の増加63億87百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて70億48百万円増加し、591億円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加36億67百万円、短期借入金及び長期借入金の増加32億66百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて3億48百万円減少し142億27百万円（自己資本比率19.4%）となりました。主な要因は、利益剰余金の減少2億16百万円、その他有価証券評価差額金の減少1億36百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日に公表いたしました連結業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,349	2,325
受取手形及び売掛金	26,512	26,901
商品及び製品	16,212	22,599
仕掛品	1	1
原材料及び貯蔵品	97	98
その他	1,452	1,434
貸倒引当金	△944	△932
流動資産合計	45,681	52,427
固定資産		
有形固定資産	12,313	12,254
無形固定資産	2,489	2,751
投資その他の資産		
投資有価証券	5,046	4,779
その他	2,448	2,444
貸倒引当金	△1,351	△1,328
投資その他の資産合計	6,143	5,894
固定資産合計	20,946	20,900
資産合計	66,628	73,327
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,469	21,136
短期借入金	15,550	19,080
1年内返済予定の長期借入金	1,399	1,338
未払法人税等	355	72
賞与引当金	719	396
その他	3,045	3,810
流動負債合計	38,539	45,833
固定負債		
長期借入金	6,924	6,722
退職給付引当金	2,396	2,410
役員退職慰労引当金	48	47
負ののれん	408	316
その他	3,734	3,769
固定負債合計	13,512	13,266
負債合計	52,052	59,100

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,495	6,495
資本剰余金	6,153	6,153
利益剰余金	2,363	2,146
自己株式	△241	△241
株主資本合計	14,771	14,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	178	42
繰延ヘッジ損益	△2	1
土地再評価差額金	△377	△377
その他の包括利益累計額合計	△201	△332
少数株主持分	6	6
純資産合計	14,575	14,227
負債純資産合計	66,628	73,327

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	74,902	74,448
売上原価	69,308	69,034
売上総利益	5,594	5,414
販売費及び一般管理費	5,456	5,309
営業利益	137	104
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	94	86
負ののれん償却額	98	91
その他	59	56
営業外収益合計	255	237
営業外費用		
支払利息	68	80
持分法による投資損失	1	—
その他	19	18
営業外費用合計	89	99
経常利益	303	242
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	65	—
投資有価証券評価損	—	57
特別損失合計	65	57
税金等調整前四半期純利益	238	184
法人税、住民税及び事業税	285	47
法人税等調整額	65	24
法人税等合計	351	72
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△112	112
少数株主利益	1	0
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△114	111

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△112	112
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△126	△136
繰延ヘッジ損益	0	4
その他の包括利益合計	△125	△131
四半期包括利益	△238	△18
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△240	△19
少数株主に係る四半期包括利益	1	0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	45,520	26,858	1,049	442	327	74,198	704	74,902	—	74,902
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,533	643	625	425	250	3,478	239	3,718	△3,718	—
計	47,054	27,501	1,675	867	578	77,677	944	78,621	△3,718	74,902
セグメント利益 又は損失 (△)	199	△130	153	△79	△22	119	10	130	7	137

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業及び水産物仲卸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額7百万円には、セグメント間取引消去182百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△175百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	45,536	26,779	744	375	274	73,709	738	74,448	—	74,448
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,579	618	507	414	247	3,368	248	3,617	△3,617	—
計	47,116	27,397	1,251	790	522	77,077	987	78,065	△3,617	74,448
セグメント利益 又は損失 (△)	136	△116	67	△70	△23	△6	△2	△8	113	104

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業及び水産物仲卸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額113百万円には、セグメント間取引消去284百万円、のれんの償却額△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△166百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、「物流事業」を「その他」として報告セグメントに含めず記載しておりましたが、「物流事業」に重要性が増したため、当第1四半期連結累計期間より報告セグメントに含めて記載しております。なお、この変更による当第1四半期連結累計期間に係る報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報に与える影響はありません。また、前第1四半期連結累計期間についても遡及処理しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。